

# Kidswell.Bio

バイオで価値を創造する -こども・家族・社会をつつむケアを目指して-



証券コード：4584

# 2026年4月・5月 FAQ

2026年5月22日

キッズウェル・バイオ株式会社

お問い合わせ内容	回答
<p>他のバイオベンチャーと比較し、安定的に収益を得られている御社ならではの強みについて教えてください。</p>	<p>上市済みバイオシミラー原薬等の供給を通じて得られる収益により、今後は株式市場からの資金調達に依存することなく、業績とのバランスを取りながら、中長期的な成長に向けた研究開発投資の継続が可能です。また、バイオシミラー原薬等の製造と研究開発投資の継続により、更なる人材の確保・育成とノウハウ・知識の蓄積が進み、新たな価値の創造につながる好循環が生まれます。</p>
<p>三谷泰之氏の退任の背景および今後の関与、またSHED事業への影響について教えてください。</p>	<p>当社が2026年5月14日付で公表しておりますとおり、主に細胞治療事業における今後の臨床開発フェーズを見据えた研究開発機能の一体的な運営等を目的とした組織体制の変更の中で、細胞治療事業における研究活動を主にリードしてきた三谷から、大手製薬企業においてプロジェクトマネージャーとして研究から臨床開発まで豊富な実務経験を有する柘淵にバトンタッチしたものです。公表前から臨床開発に関する様々な分野の専門家を柘淵が取りまとめる体制への移行を進めてきましたが、現時点では事業推進に特にネガティブな影響は見られておりません。</p> <p>なお、三谷は5月14日付で当社執行役員研究本部長および株式会社S-Quatre代表取締役社長を退任し、2026年6月29日開催予定の定時株主総会終結の時をもって、当社取締役についても退任予定です。また、現時点において、同総会以降、同氏の当社グループへの関与は予定されておられません。</p>

# KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になれること、こどもが力になれること

本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。